

食文化×サイエンス×観光



『つるおか腸いいね！project』

腸いい街、つるおか市へ。

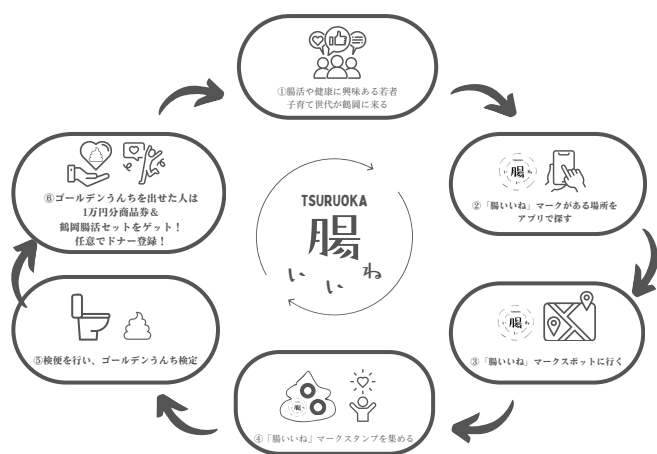


庄内BACE 鶴岡市×山形大学×慶應義塾大学×東北公益文科大学 学生チーム

【プロジェクト概要】

鶴岡の魅力である

「食文化」と「サイエンス」を融合させ、「腸活」の視点から鶴岡市をリブランディング。鶴岡の飲食店や観光地、温泉地と協力して設置した「腸いいねマークを巡ることで観光客と地域住民が楽しく腸活ができる街を目指す。また、「ゴールデンうんちチャレンジ」を企画し、新たな旅の形「ドナーツーリズム」を提案する。



【実現までのタイムライン】

2025年

3月：プレッシャーの準備
4月：プレッシャー/プロジェクト案を改善・仲間集め
5月～8月：各企業や地域コミュニティとの連携
9月～10月：社会実験
12月：改善案を考える

2026年

1月：プロジェクト一般公開
3月：実証前のイベントを開催
4月：実証化へ

【プロジェクト背景】

1. 鶴岡市は「ユネスコ食文化創造都市に認定されており、在来作物や精進料理、家庭で受け継がれてきた伝統的な食文化が魅力である。しかし、観光産業においてその価値が十分に発信されておらず、県外の方に浸透していない。
2. 鶴岡市には「サイエンスパーク」という世界が注目するベンチャー企業が集まる施設がある。しかし、地域住民との関わりが薄く、住人に価値が知られていないのが現状である。

【目標】

2026年まで、参加人数1000人を目標とし、プロジェクトを進めていく

学生と地域が連携し、観光客だけでなく、地域住民にとっても楽しいプロジェクトを目指す

【実現主体】

1. 山形大学(農学)
2. 慶應義塾大学(バイオ)
3. 東北公益文科大学(観光まちづくり)



～3大学の有志が連携し、鶴岡を腸いい街へ～